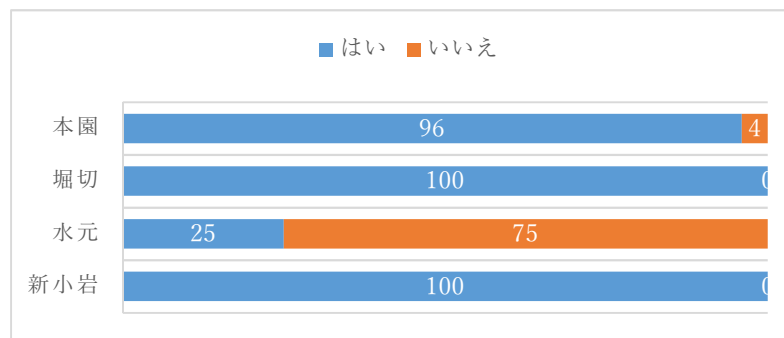


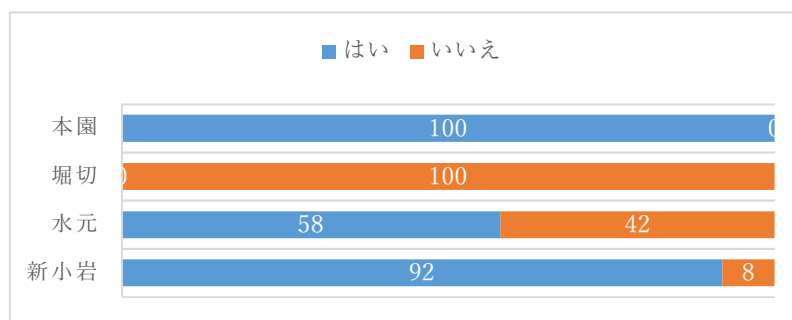
令和6年度 子ども発達センター職員による児童発達支援評価

- ・児童発達支援評価についての集計を各事業所の回答をまとめたもの。
- ・単位はパーセントとする。

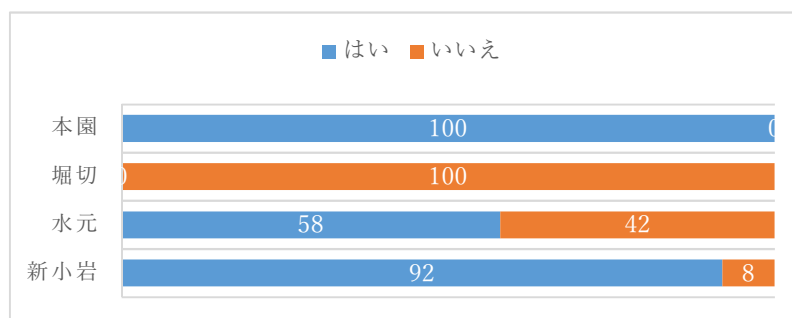
質問1 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっていますか。



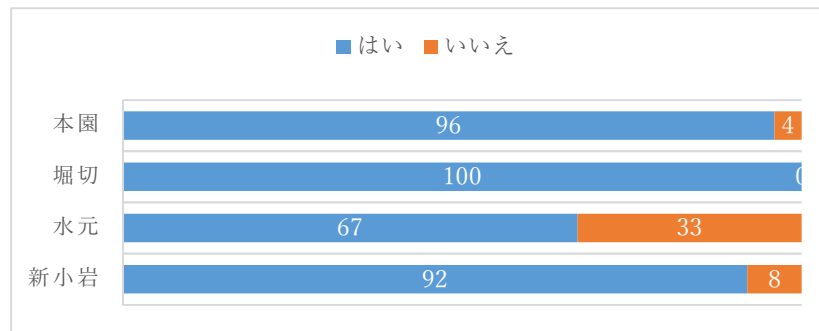
質問2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切ですか。



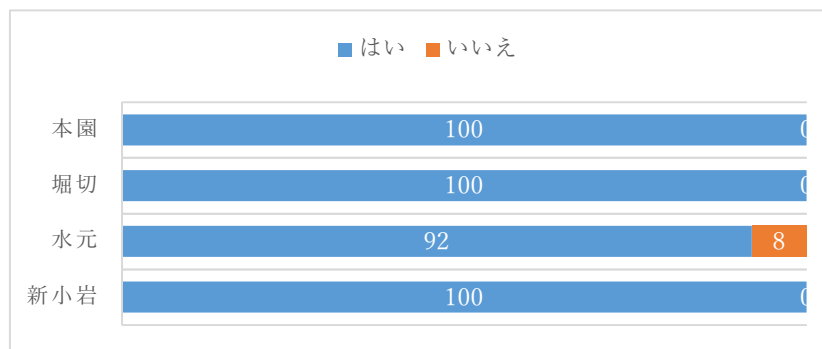
質問3 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっていますか。



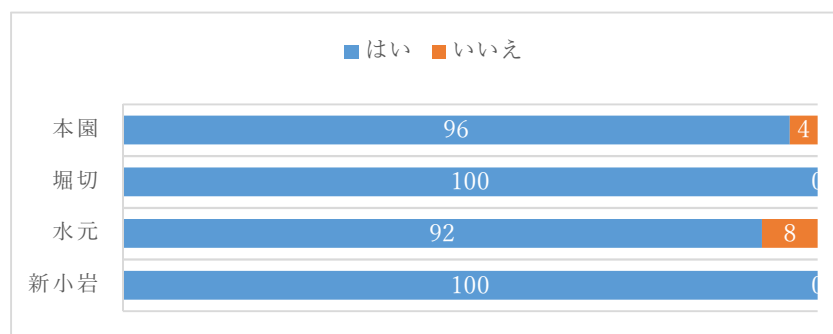
質問4 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画していますか。



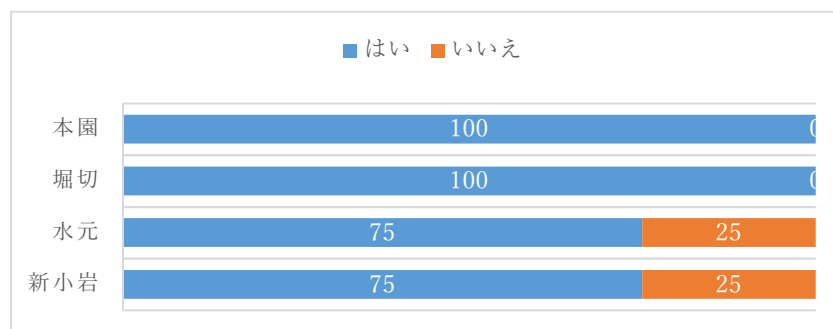
質問5 保護者評価を実施するとともに、保護者の意向を把握し業務改善につなげていますか。



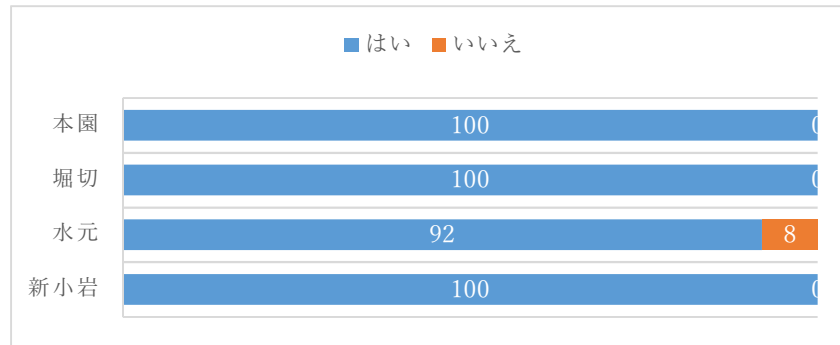
質問6 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげていますか



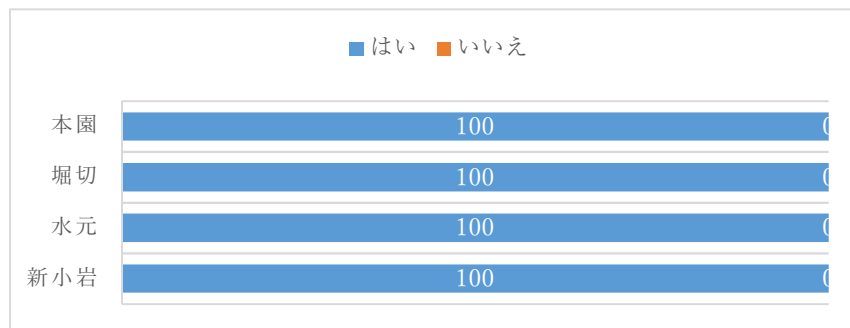
質問7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていますか。



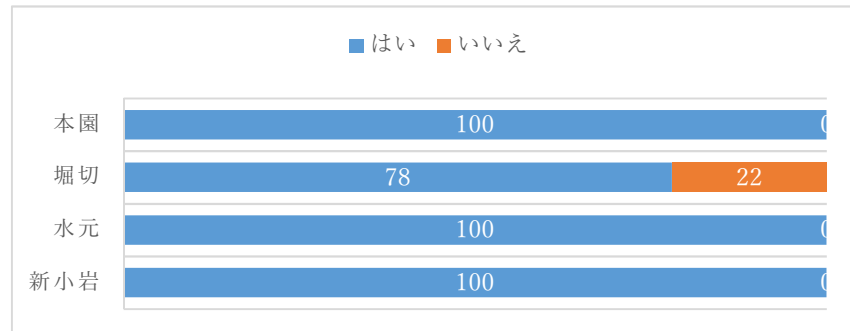
質問8 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や研修を開催する機会が確保されていますか。



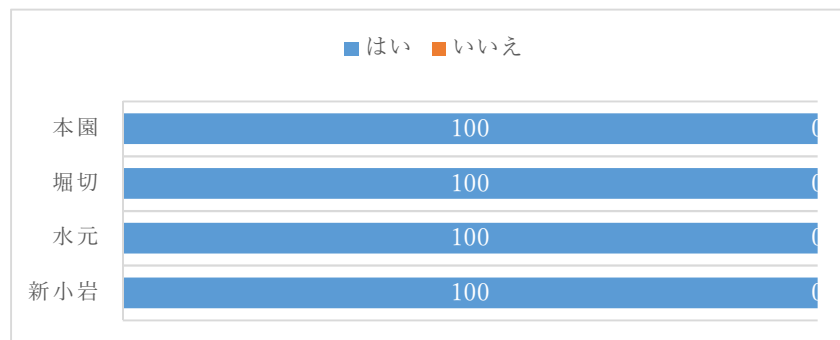
質問9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成していますか。



質問 10 児童発達支援計画を作成する際には、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われていますか。

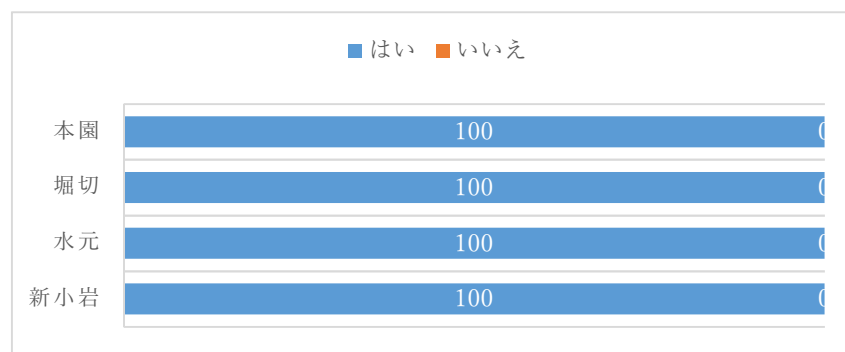


質問 11 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われていますか。

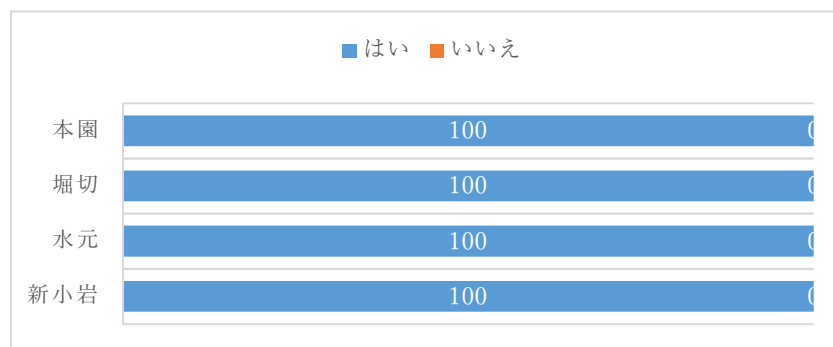


質問 12 日々の行動観察やアセスメント表などにより、子どもの適応行動の状況を、確認し

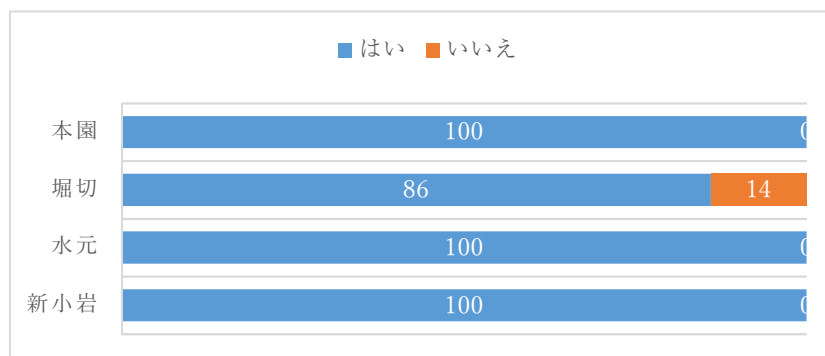
ていますか。



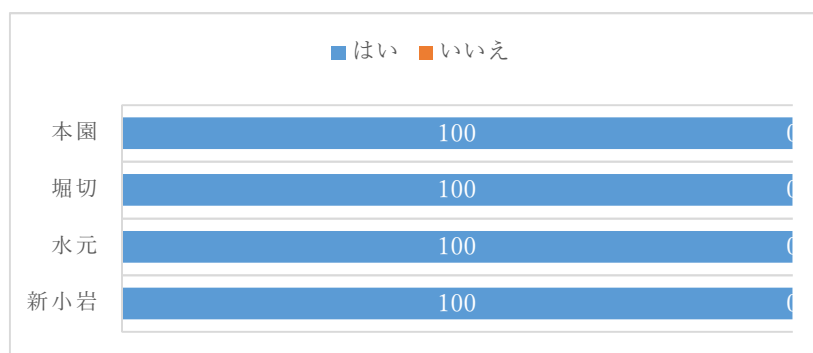
質問 13 児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインの「発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらいや支援内容もふまえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されていますか。



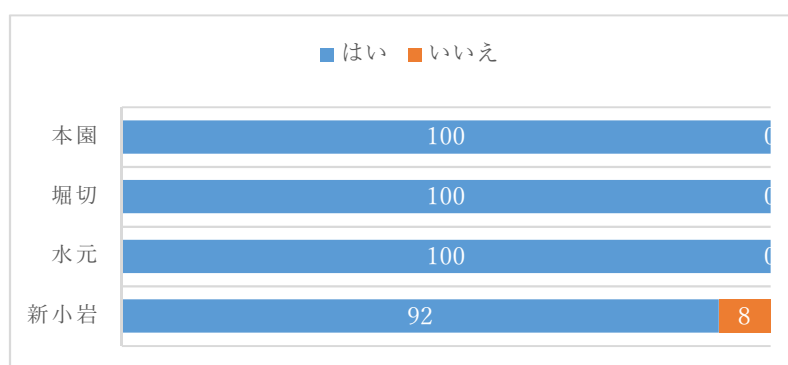
質問 14 活動プログラムの立案をチームで行い、固定化されないよう工夫していますか。



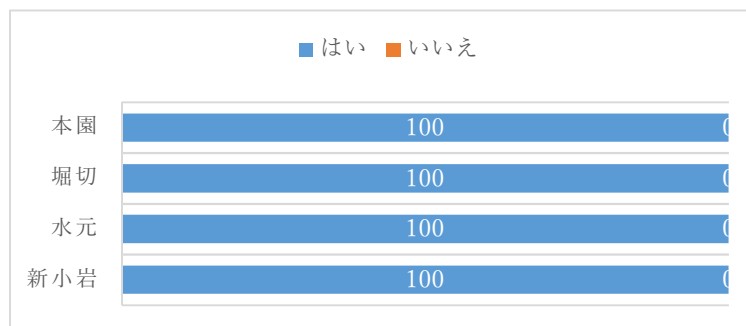
質問 15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われていますか。



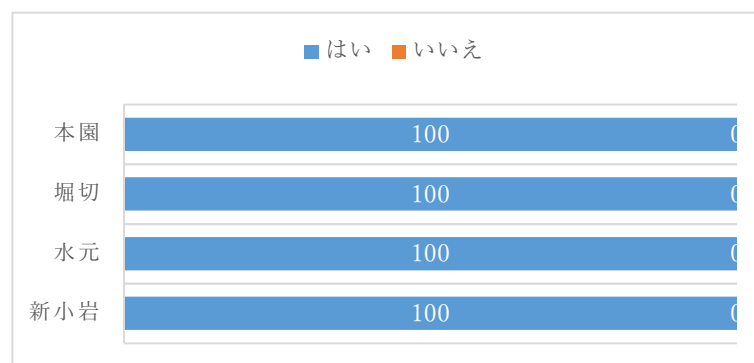
質問 16 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っていますか。



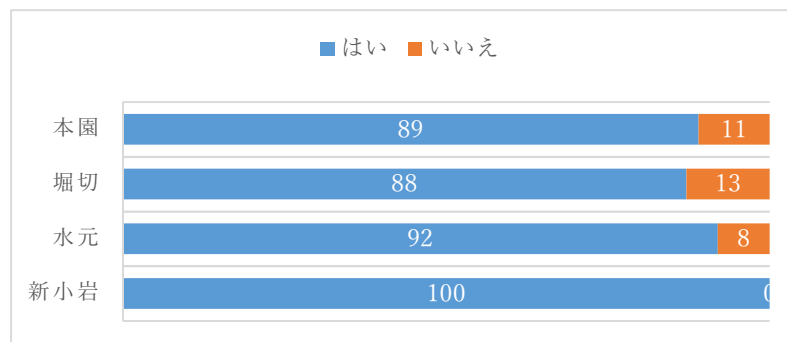
質問 17 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有していますか。



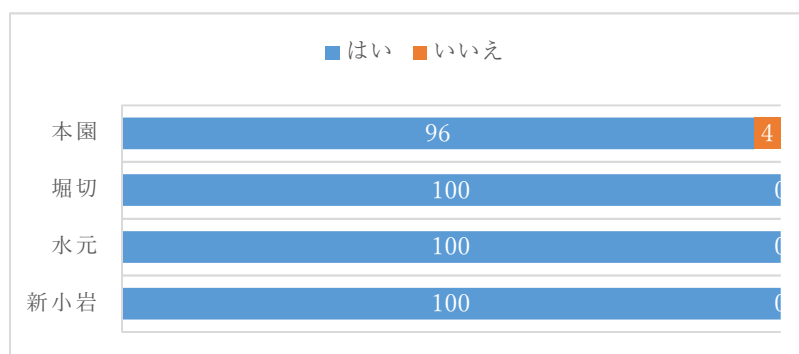
質問 18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか。



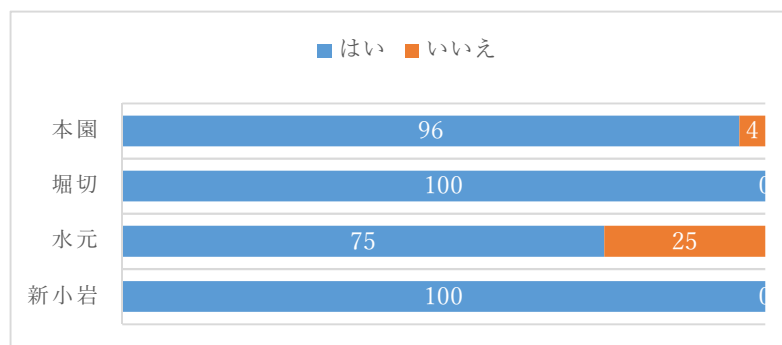
質問 19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っていますか。



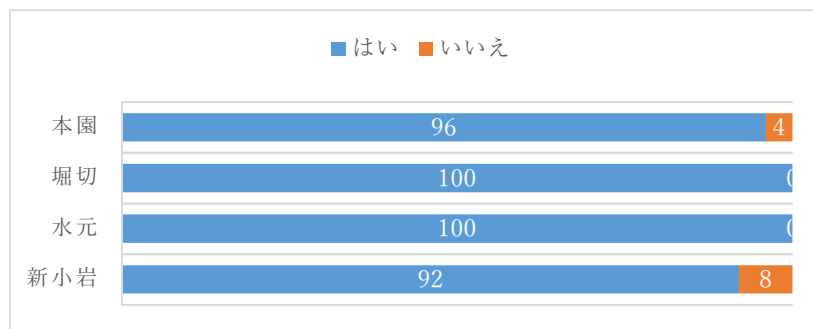
質問 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した職員が参画していますか。



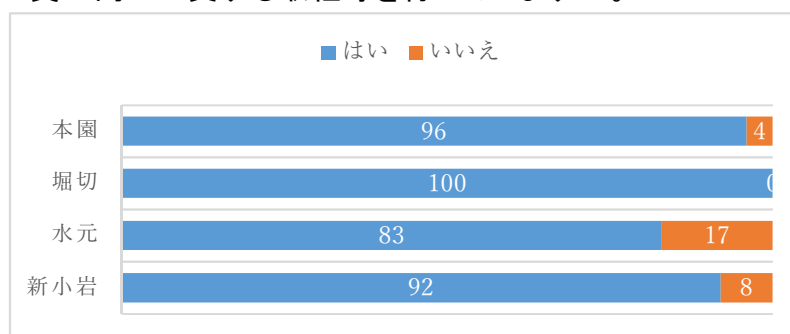
質問 21 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えていますか。



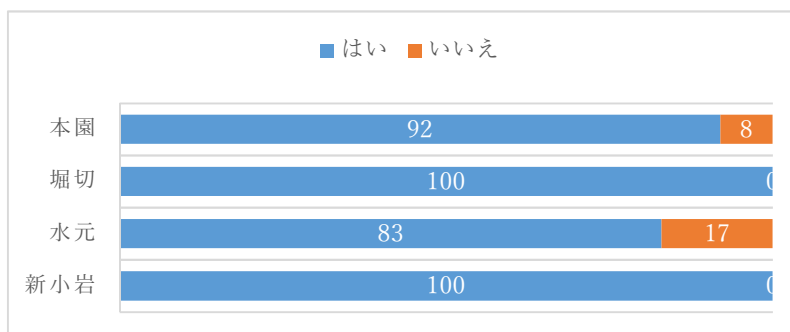
質問 22 移行支援として、インクルージョン推進の観点から保育所や幼稚園、あるいは子どもの就学先との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていますか。



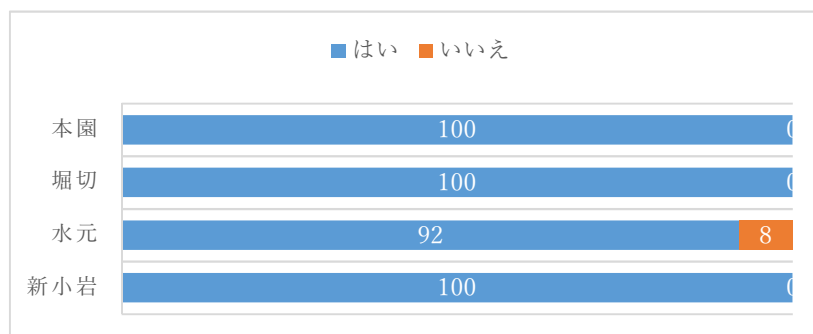
質問 23 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っていますか。



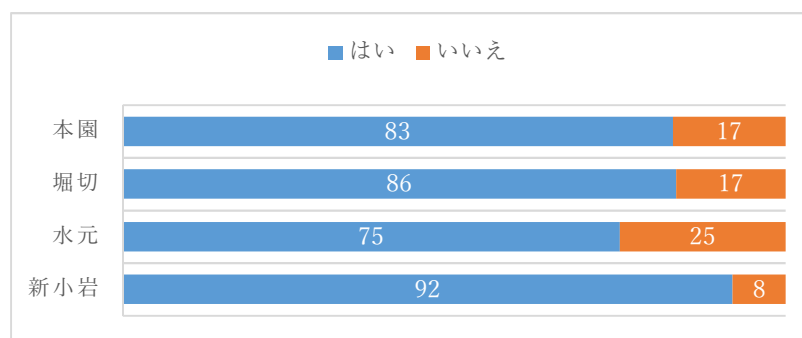
質問 24 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員が外部研修に参加していますか



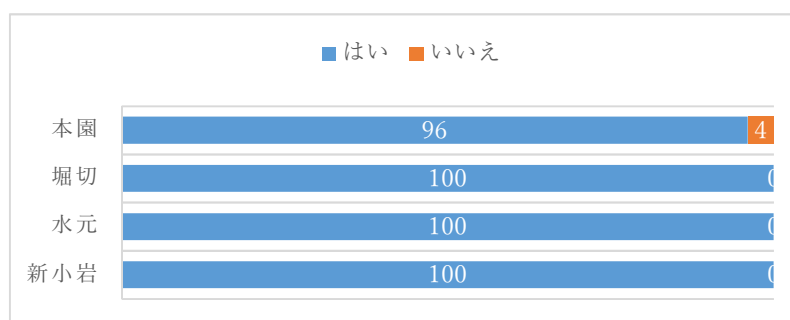
質問 25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っていますか。



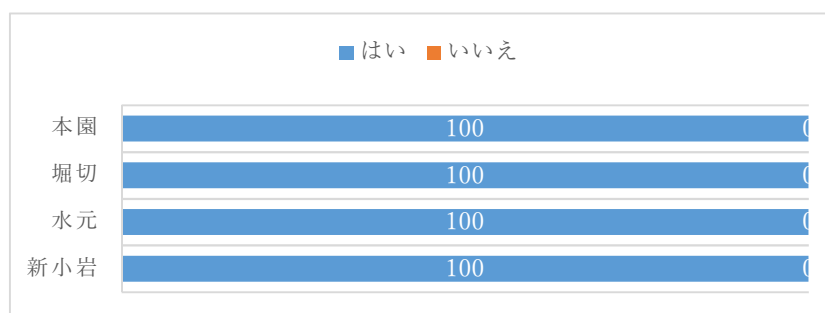
質問 26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っていますか。



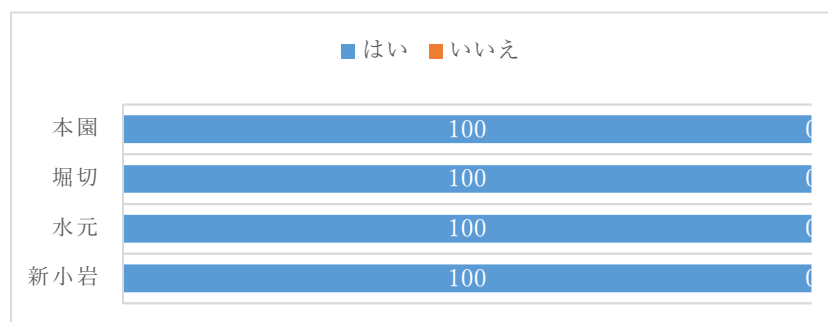
質問 27 重要事項説明書等により、支援プログラム、利用者負担について丁寧な説明を行っていますか。



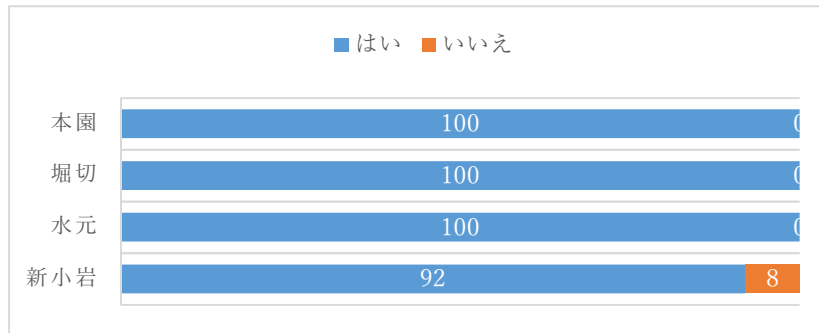
質問 28 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けていますか。



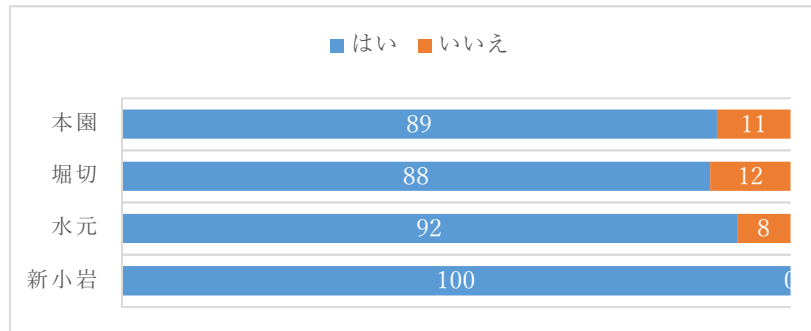
質問 29 児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ていますか。



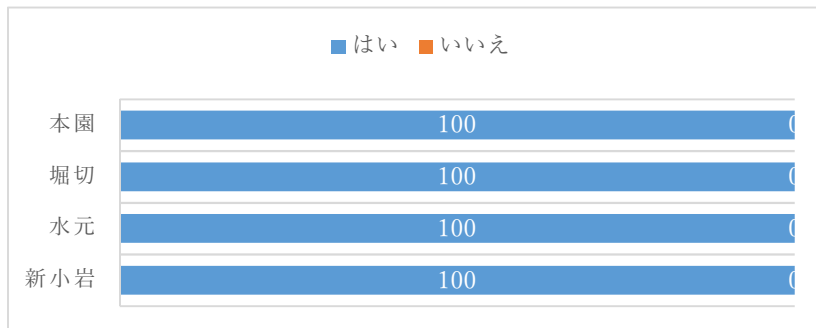
質問 30 定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っていますか。



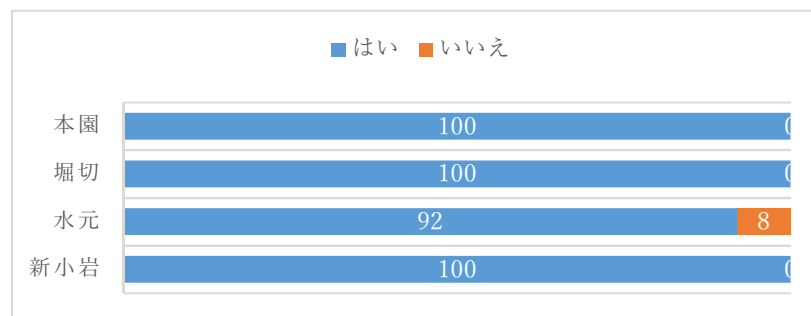
質問 31 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしていますか。(保護者会・さくらんぼ de おしゃべり等)



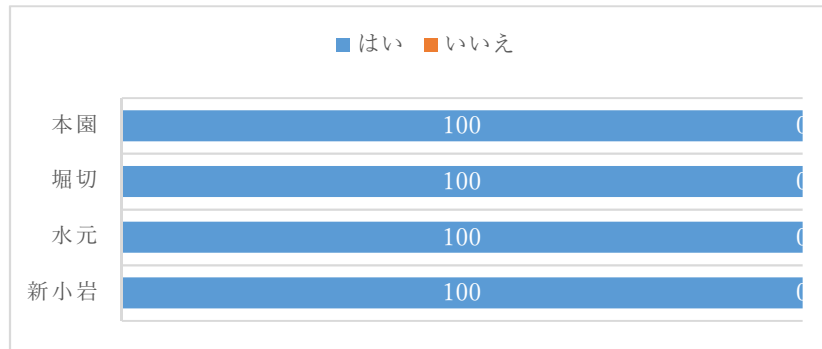
質問 32 子どもや保護者からの相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応していますか。



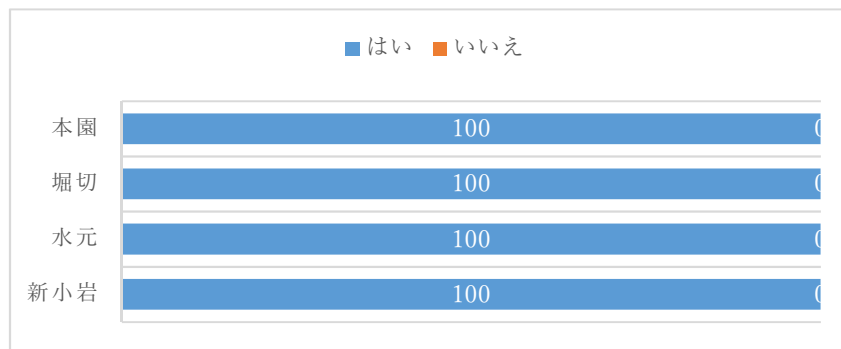
質問 33 定期的にお便り等を発行することや、HP等を活用することにより、活動概要や行事予定の情報を子どもや保護者に対して発信していますか。



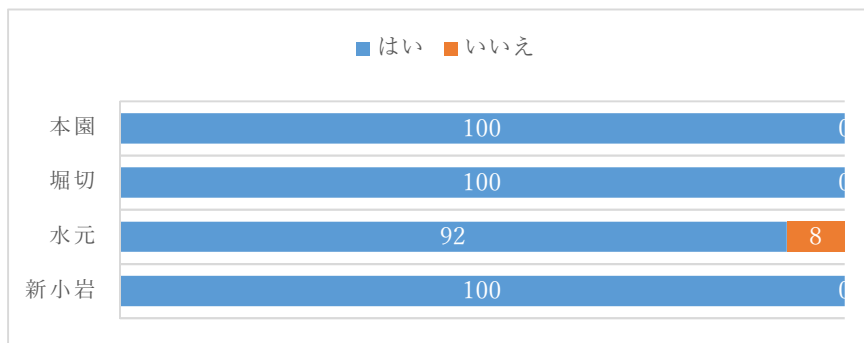
質問 34 個人情報の取扱いに十分留意していますか。



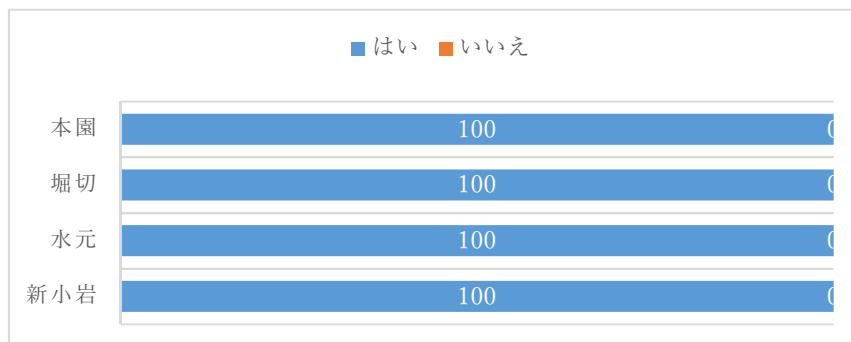
質問 35 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか。



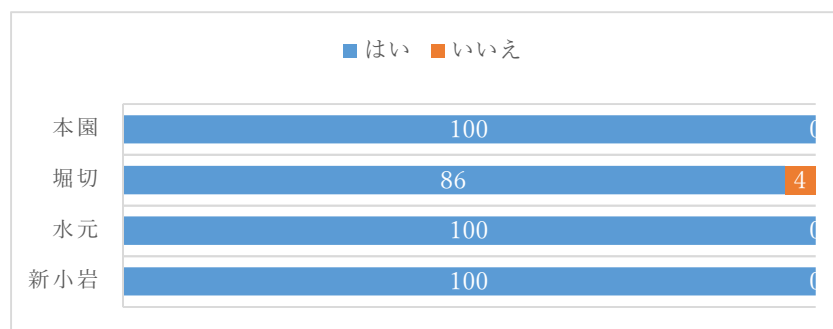
質問 36 緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施していますか。



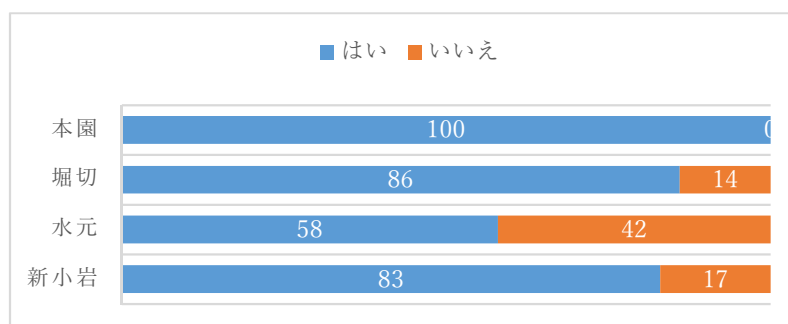
質問 37 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか。



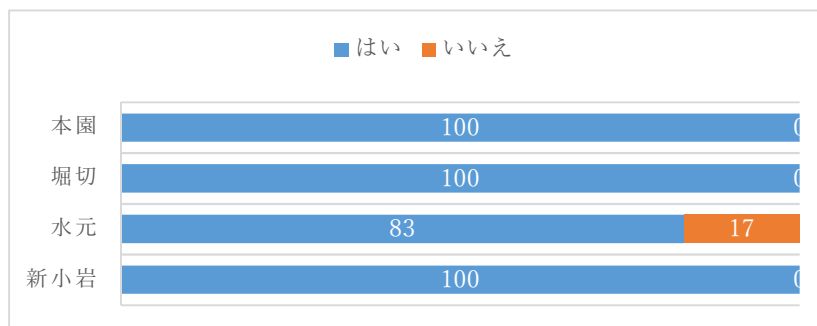
質問 38 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認していますか。



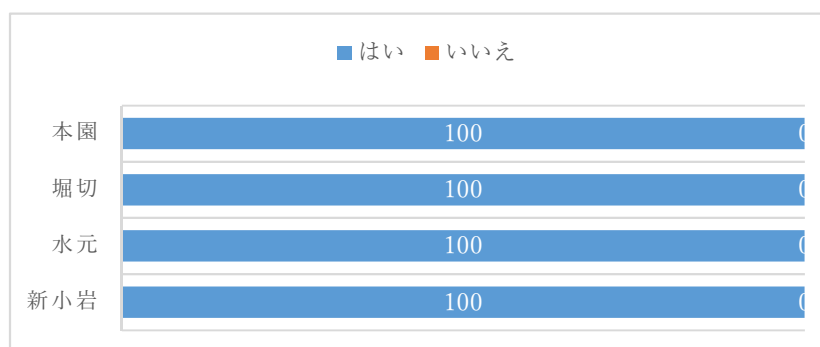
質問 39 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされていますか。(給食提供のある事業のみ)



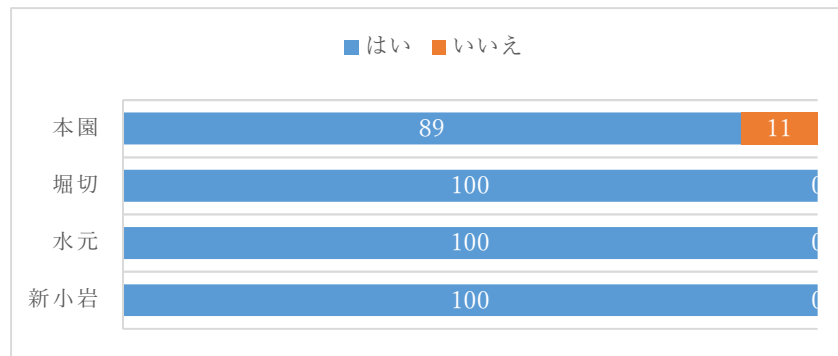
質問 40 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われていますか。



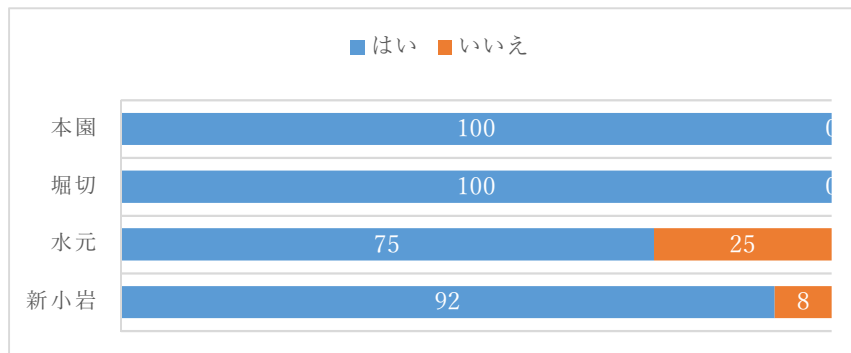
質問 41 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしていますか。



質問 42 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか。



質問 43 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載していますか。



主な意見

○環境・体制整備について

- ・子どもの注意集中を確保するための環境整備と、安全面に配慮した環境整備を両立するには、スペースが十分でない可能性もある。その中で、各クラス、職員の努力により、両面を最大限確保していると考えている。
- ・部屋が狭いため、限られた空間の中で活動を工夫しながら行っている。活動によってはアコーディオン(カーテン)を開けて広く使えるようにしている。
- ・部屋の中にパーテーションを設置するなど、工夫している。

○適切な支援の提供

- ・日々の療育前の打ち合わせ、療育後の反省、振り返りに十分な時間をとっている。
- ・反省や職員会議などでできています。
- ・センター全体で中間評価の時期を設けて、年度の途中で改善する機会を設けたのはよかったと思う。
- ・改善までに至らないこともある。そうした際には、職員間で話し合いできる限りのことができるように努めている。
- ・OJT や発達研修、事例検討などを実施している。
- ・(児童発達支援計画は)個別と集団担当だけでなく、必要があれば専門員にも相談し、幅広い見方で分析できるように気を付けている。

- ・活動後の反省会で話し合ったことや共有したことは、PC 内に記録し、職員は誰でも閲覧できるようにしている。
- ・クラスの心理士が、クラスの現状と課題を考察した資料をもとに、活動を立案している。
- ・反省等で次回以降の支援を考えることができます。
- ・お子さんの通所前に、全員で打ち合わせをしている。
- ・活動記録以外の個々のお子さんの特記事項を記入するようになった。
- ・支援後の振り返りの内容を丁寧に記録している。

○関係機関や保護者との連携

- ・保育園や幼稚園を訪問したり、小学校の引継ぎ会に参加したりすることで、情報共有を行っている。
- ・ペアレントトレーニングについては、今年度職員間で研修を実施した さくらんぼdeおしゃべりの実施
- ・聞かれた時には自己判断で説明せず、必ず確認した上で伝えている。
- ・子どもの意思決定については、お子さんがまだ小さく確認が難しいので、日々の支援の中から本人の意思を想像して作成することを大切にしている。

○保護者への説明等

- ・相談室めろんの方と連携を図り実施している。
- ・保護者会はある。さくらんぼ de おしゃべりなどは、存在は知っていても、保護者から積極的に参加する話はあまり聞かない。保護者同士のかかわりは、潜在的にはニーズは高いと思うので、どうしたらより来てくれるか、検討していけるとよいのかなと思います。
- ・(お便り)では、2か月先の活動内容や、最近のクラスでの様子、専門職からのコラムなどを載せており、充実していると思う。
- ・問題発生の可能性があった場合にも、できる限り早期に対応し、個人情報取り扱いの意識向上に努めていると考える。
- ・子どもが帰る前には、リュックの中にある連絡帳や配布物の間違いがないかダブルチェックをしている。
- ・外国籍の方へ、電話連絡や個別の手紙を作成し対応している。

○非常時等の対応

- ・緊急対応の可能性がある場合は、事前に主治医から指示書を受け、手順書を作成して同意を得ている。
- ・(食物アレルギーのある児童への給食提供は)対応可能な施設を限定し運用。

その他多数意見あり。子ども発達センター全所で共有。